

樫谷議員 おはようございます。通告しておりました県立海部病院を津波に強い安全な場所への移設を早急について質問させていただきます。来るべき南海、東南海、東海の3連動に向けた地震、津波にも対応できるよう安全な県立海部病院を早急に整備することと、先月8月24日に知事への要望に伺いました。県の方で検討していただくことはしていただくとして、牟岐町がすべきことを早急に構築しなければならないと思います。現在の海部病院は河川側に位置し、津波が来れば2階まで、ことによっては3階まで浸かってしまう恐れがあります。ご存知のように1階部分にはボイラー、CT、血液検査室など病院の機能の大半が含まれています。2階には手術室や内視鏡などの検査室があり、災害時、川の氾濫により病院としての機能が危ぶまれます。そこで、耐震も含め津波に対応できるように、高台に早急に移設することを構築しなければなりません。海部郡という地理的な状況からいっても、海部郡の中心地である牟岐町内に設置するための土地の確保を模索しなければならないと思います。今現時点ではどこに移設するのが最も良いのか、勿論、町民の皆さんが通院に便利で、しかも、海部病院が培ってきた文化、そして、働く雇用なども考えた上での得策を模索していかなければなりません。非常時には医療難民にならないよう津波に強い海部病院の土地の確保を牟岐町が早急に検討していかなければならないと思います。命と健康の拠点であり、災害時緊急指定の機能を果たすべく海部病院の構築を是非推し進めて欲しいと思います。今回は海部病院の高台への移設を質問させていただきましたが、東北の地震災害地域では、高台への住居の検討もなされています。防災に対する危機意識、並びに防災に向けての牟岐町の取り組みについて町長の見解をお聞きします。

枅富議長 福井町長。

福井町長 樫谷議員のご質問にお答えします。最近の新聞報道などによりますと、過去の歴史から判断して、東海、東南海、南海の3連動地震の発生の可能性が非常に高くなっているということでございます。そして、3連動地震が発生した場合、現在の海部病院は大きな被害を受けることが予想され、建物が使用可能であっても、津波後のがれき等により外部からの進入が阻害されることが想定されます。従いまして、牟岐町としましては、周辺道路も含め津波被害を受けない場所へ移転をしていただくことが最良の策と考えておりますが、県立の施設であることから、最終的には県の判断によることとな

ります。ただ、県も徳島県地域医療再生計画の中で、海部病院における災害医療センター機能の整備を掲げていることから、県の財政も非常に厳しい状況にはございますが、国の予算措置状況によっては、海部病院の移転も夢ではないと考えております。県が建替えを実施することとなった場合に、牟岐町に土地が用意できずに実現しなかったというのでは、牟岐町だけでなく海部郡の住民の方に対しても、県に対しても説明できません。従いまして、何とか早い段階で将来を見据えた行動を開始する必要があると考えております。今後の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

枅富議長 榎谷議員。

榎谷議員 只今、町長から答弁がございましたけれども、土地を構えて、そして、県の方に働きかけるというのも一つの案ではなかろうかと思えます。向うからお話ししてきても土地が、置くところがないというふうな、町として不様ことにならないように、今から土地を模索していただきたいと思えますので、近々に来るかも知れない。30年後は確実に来ると言われておりますけれども、30年後ではないように私は思います。もっと早く来るように思えますので、この問題も早い期間で取りかかっていますように、お願い申し上げます、私の一般質問を終わらせていただきます。